

令和 4 年 3 月 11 日
 横浜都市発展記念館
 (公財) 横浜市ふるさと歴史財団



横浜都市発展記念館 企画展

「激震、鉄道を襲う！—関東大震災と横浜の交通網—」

開催期間変更のご案内

2023年

関東大震災から100年の節目に向け
 企画展を開催

今から150年前、新橋と横浜の間で開業した鉄道は、その後、全国に線路を延ばしてきました。**大正時代は、2代目横浜駅の開業〔1915年(大正4)〕や、東京・桜木町駅(初代横浜駅)間の電化、電気鉄道の市営化〔1921年(大正10)〕と新規路線の整備計画の策定など、横浜市内の交通網が大きく発展した時期**でした。そうした中、未曾有の悲劇に見舞われます。1923年(大正12)9月1日に発生した関東大震災です。

2023年には関東大震災から100年の節目を迎えます。本展では、震災からの復旧工事に携わった**鉄道技師の遺した写真アルバムを中心に、物流の大動脈となりつつあった鉄道や横浜の交通網の被災から復旧、復興に至る様子を多彩な資料で紹介**いたします。本年は鉄道開業150年の記念の年ではありますが、**近い将来の発生が指摘されている大規模地震への備えが叫ばれる中、鉄道と災害の歴史を見直すきっかけになれば幸いです。**



2022 3.12(土).....7.3(日)

開館時間 9:30~17:00(券売は16:30まで)

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)

観覧料 一般500円/小・中学生および横浜市内在住の65歳以上の方250円

※この料金で当館常設展および横浜ユースアジア文化館もご覧いただけます。

※各館土曜、小・中学生と高校生は無料です。

横浜都市発展記念館
 Museum of Yokohama Urban History

観覧券はオンラインで購入できます。展示をご覧になる際には、オンラインによる予約(日帰り)をご利用いただくか、ご入館がスムーズです。 購入はこちらから▶



— 関東大震災と横浜の交通網 —



〈主催〉公益財団法人横浜ふるさと歴史財団(横浜都市発展記念館) 〈共催〉横浜府教育委員会/横浜府交通局(後編) 財団法人横浜鉄道/横浜鉄道局/横浜新幹線横浜支店/東京新幹線横浜支店/毎日新聞社横浜支店/読売新聞社横浜支店/NHK横浜放送局/TVK/株式会社 交通新聞社

展覧会概要

【会 期】2022(令和4)年3月12日(土)~7月3日(日)

【会 場】横浜都市発展記念館 3F 企画展示室

【開館時間】9:30~17:00(券売は16:30まで)

【観 覧 料】一般 500 円、小中学生、横浜市内在住 65 歳以上 250 円

【休 館 日】毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)

【展示点数】約 200 点

【関連企画】展示解説：日時につきましてはHPでご案内いたします。

パネル展示：「鉄道橋の関東大震災」(当館1Fギャラリー、旧第一玄関にて開催中)

展示図録：ミュージアムショップとオンラインショップで先行販売中 ¥1,320(税込)

空調機故障のため
 延期しておりましたが、
 左記の会期で開催いたします。

裏面に展覧会の見どころ紹介があります



ここが見どころ！

① 鉄道技師が遺した写真帳

鉄道橋を専門とする鉄道技師だった木村義麿（1885-1946）は4冊の写真帳を遺しました。関東大震災後、鉄道省の技術職員として東海道本線の馬入川橋梁、熱海線の酒匂川橋梁や白糸川橋梁の工事に従事し、その過程の写真約500枚を写真帳にまとめました。木村の遺した写真からは、当時すでに物流の大動脈となっていた東海道本線の復旧工事の過程だけでなく、当時の高い土木技術が窺えます。



【上】関東大震災鉄道復旧工事写真帳

【右】鉄道技師・木村義麿 肖像 昭和3年頃

上・右とも：河邊啓太郎氏蔵

横浜開港資料館保管



② 市民の足の崩壊と復興

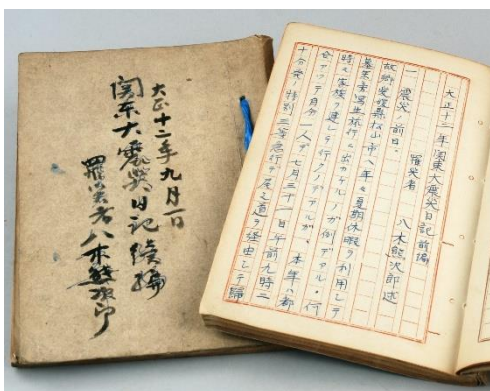
写真帳『大震災電気鉄道被害情況』（横浜市電気局）も貴重な資料です。当時、電気局の置かれていた滝頭周辺の被災状況から車両や施設の被害、復旧工事、バラック電車の運行などが収められています。市民の足として身近な交通機関として定着していた電気鉄道（横浜市電）の、震災からの復興の様子をご紹介します。



オソ10形貨車と復旧工事に従事した人びと
河邊啓太郎氏蔵・横浜開港資料館保管

③ 多彩な資料から追う鉄道と関東大震災

近年注目が高まっている市民が遺した日記や、震災遺構からの出土資料なども展示します。鉄道を用いて災害から避難する人々の様子をはじめ、関東大震災がもたらした鉄道や市民生活への影響を捉え直します。



八木彩霞の日記

八木洋美氏蔵

横浜開港資料館保管



横浜から地方へ鉄道で避難する人びと

1923（大正12）年9月 横浜都市発展記念館蔵

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会期・開館時間等を変更する場合があります。
- 展示をご覧になる際には、オンラインによる事前予約（日時指定）をご利用いただくと、ご入館がスムーズです！詳細はホームページをご覧ください。

お問合せ先

横浜都市発展記念館 TEL 045-663-2424

副館長：青木祐介 展示担当：吉田律人 広報担当：神谷量子